

平成28年度 事業報告

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日



◆この法人の目的及び事業◆

第3条 この法人は、子育て孫育てに関わる全ての人の「はじめの一歩」を助長し、「助け合う」「支え合う」「認め合う」「見守る」地域づくりを基本理念とし、地域と連携をはかり、繋がる・広がるネットワークづくりに関する事業を行い、子どもと大人、個と社会それぞれが、互いに「支え合い・助け合う」ことが自然にできる環境を目指すことを目的とする。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 子育て支援情報の循環整理事業
- ② 次世代育成事業
- ③ 地域交流・活性化に伴うイベント事業
- ④ 子育て世代の交流、居場所を作る事業
- ⑤ 母親の社会復帰を応援する事業
- ⑥ 女性のライフスタイルにかかる事業
- ⑦ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

①子育て支援情報の循環整理事業

【事業名】子育て情報発信サイト「あいちかすがいっこ広場」

(1) 背 景

春日井市内には 40 団体以上の子育て支援団体があるが、その団体の活動情報を発信するサイトが団体を立ち上げた 2013 年の 8 月にはありませんでした。そこで、資金を集め Web サイトを制作し市内で活動している団体を中心に、掲示板として活用してもらい、子育て中のママやパパが情報をさっとみつけることができる環境を作りました。

(2) 現 状

春日井市内外の子育て支援団体からの情報を発信しています。また、「勧誘・宗教」を除く情報については情報提供会員(0 円)として掲載を行っています。デザイン等は当初から特に変更はありません。

更新について

トップバナーの写真更新:月始

情報の更新:隨時

メルマガの配信:1 日、10 日、20 日の 3 回配信 アクセス数:4,000 アクセス前後/月

参照:フェイスブック 1,000 イイネ達成・メルマガ会員約 900 名前後(2014 年に登録の方が退会し、新たな方と入れ替えていきます。

(4) 成果と課題

成果

春日井市の行った子育て宣言の1つで「整える」という事業において、新たに地域の子育て情報に密着したウェブサイト「春日井子育て情報発信 春日井ハッピーマムズ」を 29 年度春に開設。そのサイトの業務委託を当法人が行うこととなりました。

課題

情報の 1 本化を目指し当初立ち上げた「あいちかすがいっこ広場」を設置したままでは情報の 1 本化にはなりません。

そこで、2 年計画としてサイト内を変更していきます。(法人の案内ののみのサイトにするか検討します)

(5) 収支について

収入 0 円

支出 3,000 円 × 12 カ月 = 36,000 円

【事業名】子育て情報発信サイト「春日井ハッピーマムズ」

(1) 背 景

日々、子育てに奮闘する春日井のママ達へイベント情報を中心とした情報を発信し、ママ達の幸せな生活(=女性らしい活躍と自分らしさの実現)を応援するために春日井市が新たに 29 年度春開設を目指し取り組んでいます。今までの市は市、民間は民間ではなく、「子育て情報」というくくりで情報を発信していくことを目的に当法人が 29 年度より業務委託を受け運営していきます。

(2) 現 状

「あいちかすがいっこ広場」の活動情報を表示しているページを参考に、制作会社と打ち合わせを行っています。

(3) 変 化

春日井市子ども政策課の方と密に情報交換ができる環境となり、「困っていること」が反映されており、より子育てしやすい街に近づく一步を共に進めています。

(4) 成果と課題

成果

「春日井子育て情報発信 春日井ハッピーマムズ」を 29 年度春に開設に向け担当スタッフの増員を図ります。

春日井市子ども政策課が発信していたメールマガジンを当法人が発信します。

課題

次年度は行政より管理費を計上していただいているが、それ以降については、バナー広告で収益を法人が見込むことになっています。

(5) 収 支

収入 業務委託費(企画・素材収集一式)一式 324,000 円

支出 ホームページメンテナンス等 次年度の活動費として繰り越し

【事業名】プチサミット

(1) 背 景

春日井市内を中心に活動する支援団体が、その他の地域やジャンルで活動している団体とつながり、意見交換ができる場づくりとして、プチサミット(意見交換会議)を開催しています。また、支援団体同士の連携を図る環境づくりや、支援者側の困りごとなどの共有をして、活動しやすい環境をサポートします。

(2) 現 状

◆開催日と参加者人数◆

第 12 回 開催日 4 月 18 日(月) 参加団体 11 団体

第 13 回 開催日 6 月 13 日(月) 参加団体 11 団体

第 14 回 開催日 9 月 8 日(木) 参加団体 6 団体

第 15 回 開催日 11 月 15 日(火) 参加団体 4 団体

第 16 回 開催日 2 月 27 日(月) 参加団体 5 団体

(3) 変 化

ママの文化祭®を通じて、個人の活動(個人事業主含む)の参加が目に付くようになりました。当初は団体の連携だったため、今後の「プチサミット」の在り方は検討する必要があると参加者からも声を頂いています。

(4) 成果と課題

成果

毎回、必ず新しい団体が参加しています。また、春日井市内外からの参加により、それが”新たな団体同士のつながり”となり、コラボ企画やイベント開催などもありますが、参加する団体が減少傾向にあります。

課題

29 年度のプチサミットについては、その目的について見直しを行います。

(5) 収支について

収入 0 円

支出 資料印刷費程度(1000 円未満)

②次世代育成事業

(1) 背 景

講師を招き、「学び」の場を提供し、参加者の子育環境の変化や、志の向上、社会とつながり持ち、新たな自分の発見や、取り組みの「はじめの一歩」を助長します。

(2) 実 繢

【講座名】美×食×住イベント「ローフードについて学ぼう」講座

【開催日】7月1日(金)・9月26日(月)・1月27日(金)開催

【内容】火を使わずに調理する食事＝生の食事を知るために開催しました。デモンストレーション形式で、「見る＆食べる」の講座です。また、終了後はモデルルームを見学し、会場を“視察”する感覚で見て頂き、良い点も悪い点もご意見としていただきました。

【参加人数】

7月1日:9名 9月26日:6名 1月27日:4名

(3) 変 化

依頼元の(株)タチキホーム様とは良好な信頼関係を築くことができ、次年度もご協力させて頂きます。

(4) 成果と課題

成果 イベント集客と受付対応、アフターフォローなどを当法人でやれることで、消費者と企業の距離感が縮まりました。

課題 講座開催時は、モデルルームを利用しているが、ハード面だけのPRでは少し効果が弱いため、もっと「人」にフォーカスをしていきたいです。

(5) 収支について

収入 コーディネート料一式(内1回は企業会員年会費含む) 30,000円×3回 90,000円

支出 講師謝礼 5000円×3回 15,000円 当法人スタッフ交通費 1名 3,000円×3回 9,000円 24,000円

■長期講座

【講座名】～つながることの大切さ～ あいち防災サミット(あいちモリコロ基金助成事業)

(1) 背 景

「つながり」が安心に変わる！いざというとき、さっと手を差しのべられる人、それは「知り合い」です。

その知り合いを1人でも多くそれが増やしていただけるように、その“きっかけ”をサミットを通して知り合いを増やしネットワークを形成します。

(2) 現 状

このサミットは当法人をはじめ、名古屋市の育児支援団体ママスタート・クラブ・蟹江町のにこにこママネットワーク・一宮子育て支援団体アイリーファム・名東区のママのホンネ研究所・中区のコーチング・瀬戸市の育笑netの6団体が実行委員を務め連携しています。

(3) 変 化

実際に春日井市では社会福祉協議会様や春日井市役所様もサミットに参加してくださり、またボランティアコーディネーター・レスキューストックヤード様など新たな横のつながりもできました。

(4) 成果と課題

成果

開催日	場所	参加者人数
-----	----	-------

10月21日(金)	一宮市ビル 市民活動支援センター	32名
11月17日(木)	蟹江中央公民館	34名
12月13日(火)	名古屋市天白区 レクサス植田	12名
12月16日(金)	名古屋市中区 コーチング・ステーション	9名
1月13日(金)	名古屋市港区湊防災センター	17名
1月31日(火)	春日井市 大和エネルフ(株)カスタマーセンター	30名

■いのちを守れるママになろう～防災ママカフェ～

開催日	場所	参加者人数
2月10日(金)	蟹江中央公民館分館 3階会議室	52名
2月28日(水)	一宮市市民活動センター会議室	19名
3月28日(火)	名古屋市守山区 オリコーヒー	15名
3月30日(金)	小牧市西部コミュニティーセンター	32名

特別講師：社)スマートサバイバープロジェクト 特別講師 かもんまゆ氏をお呼びしてママカフェを開催

課題 繼続することが大切なので、当法人発信で、年に2回以上防災知識のアップデートを図りたいです。

(5) 収支について

収入 あいちモリコロ基金より 1,000,000円助成

支出 業務委託費 50,000円×5団体 250,000 防災ママカフェ委託費 80,000円×4回 320,000

その他 会場費・印刷製本費・旅費交通費・通信費・消耗品費・人件費 等 総額 1,000,000円

■長期講座

【講座名】第3回子育て支援者養成講座(一部 コープあいち福祉基金)

(1) 背 景 「子育て支援者養成講座」は子育て支援をテーマに子育て中の母親だけでなく、地域で活動している方々やこれから結婚する世代や学生がつながる場を生み出すため、ママの文化祭に向けて毎年開催します。

学び→実践→振り返りをすることで、高めた意識が地域の財産になると考えています。

(2) 現 状

開催日	講師名	内容
第1回 10月19日(水)	NPO法人あっとわん 代表理事 かわの ゆみこ氏	「社会の仕組みを知ろう」
第2回 11月2日(水)	愛知県春日井児童相談センター長 渡邊浩志氏	「児童虐待と社会的養護」
第3回 11月16日(水)	元保健師 三浦真弓氏氏	「元保健室の先生から聞く 子どもの成長」
第4回 11月30日(水)	かすがい☆スキンシップたいむ 看護師 小菅 祐美	「親子のスキンシップ」
第5回 12月14日(水)	春日井市消防本部より	「子どもの安全と応急手当」
第6回 1月11日(火)	ボランティア合同説明会	「シミュレーション」
第7回 1月17日(火)・18日(水)	第4回 ママの文化祭	「実践」
第8回 2月6日(水)	NPO法人あいちかすがいっこ	

代表理事 内田朋代		
第9回 2月22日(水)	助産師 梅木美恵子氏	【前半】いのちの話 【後半】表彰式+お茶会

今年は参加者の受講料も託児の費用も無料にしました。

今まで受講料を無料にしてきたのは、誰もが受講することで後に地域の財産になると考えていたからですが、託児の無料に関しては今後検討すべきだと思いました。

(3) 変化

「ママの文化祭」に必ず関わることを前提にしていましたが、イベントを好まない方は最後までの受講が難しいと感じられたそうです。実践現場は必ず学びとして経験していただきたいのですが、イベント以外の広場などでもよいという意見が上がったため次回は検討しなおします。

(4) 成果と課題

成果 皆勤した受講生 7名に「子育て支援者」として修了証を贈呈しました。

そして、その後の関わりを持ってくださる方は 20名前後いらっしゃいますが、具体的にお願いできずにいます。

課題 無料の為「とりあえず受講」が多いため、志に温度差を感じられるというアンケートの回答がありました。

次回は人数ではなく、密度を重視し、その後の活動イメージや、具体的に現場の活動につなげるカリキュラムを検討します。また、「ママの文化祭」を絶対参加の条件にしません。

(5) 収支について ※受講料無料・託児あり / 参加者人数 53名

収入 平成28年度コープあいち福祉基金助成金 250,000円

支出 講師謝金 20,000円×4名 80,000円

会場費 7,000円(講習・託児室)×7回 49,000円 その他保育外注費・雑費・備品等含む 250,000円



【ソーシャルカウンセリング講座(業務委託)】

(1) 背景

今と昔の子育て環境の違いを考えてみることで、『今』必要な支援を考えることができるのではないか?という背景から相談に対応する人=相談員と、相談を依頼する人=相談する人ともに相談できる力を向上するための講座です。

(2) 現状

今回の受講生は、すでに行政の施設等で相談を受ける立場の人や、ご自身のスキルを向上するために受講する方が多く、コミュニケーション力とは違う「相談力」という部分のスキル向上を図りたいと考えています。

(3) 変化

受講するごとに毎回振り返りを行う中で、人だけに焦点を当てるのではなく、その人が存在する環境のみにではなく、その両者の接するところに焦点を当てていくことを意識できるようになります。

(4) 成果と課題

成果 11名中、1名途中辞退

課題 特になし

(5) 収支について

収入 業務委託費 80,769円（内会場費 12,960円 含む）

支出 業務に含むため特に発生なし

参照：委託内容・講座開催から閉講までにかかる事務管理業務・講座時の受付配布資料等の業務

③地域交流・活性化に伴うイベント事業

【事業名】ネピア春日井ブランド化推進プロジェクト

(1) 背景

「ネピア」ブランド化推進プロジェクトの認知度の向上を図る各地の地域イベントに参加し、「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクトのPR活動を通じて、地産地消のブランドとして地域で盛り上げています。

また、市外の方に「春日井市の取り組み」としてPRも行っていました。

しかし、安価な紙製品の市場により、高品質で価格帯もママ世代が手にするきっかけが減少していると感じています。

「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクトとは？



(2) 現 状

日程	イベント名	配布枚数	開催エリア
6月28日(火)	ハンドメイドマート#12	110名	尾張旭市
9月13日(火)	sunny side marché VOL.11	280名	長久手市
10月15日(土)・ 16日(日)	第40回 春日井まつり	ポケットティッシュ 740個 クーポン 9400枚	春日井市
11月6日(日)	子育て楽市楽座	300名	多治見市
11月23日(水・祝)	夢モリ	200名	清須市
11月27日(日)	わくWORKパーク2016	200名	瀬戸市

(3) 変 化

昨年度までは、耐震工事や空調設置と、「紙オムツ」を利用するママにとっては少しイメージしづらいものでしたが、29年度より春日井市交通児童遊園の老朽化した自転車を新しいものに変えるための費用として寄付をされます。

(4) 成果と課題

成果

様々な場面でこのプロジェクトのPRをしているため、周囲の方から「あいちかすがいっこ＝ネピア」という認知度も上がっていいる様に思います。

課題

ただ、市場の価格で「安価な商品が家庭に嬉しい」ということもあるため、今後「子どもに還元されるならnepiaを買おう」という世代が増えるよう、寄付先を子育て世代に大々的に周知することを引き続き行います。

また、春日井市内でのPRは継続して行っていますが、市外での活動にも積極的に参加し、企業とNPOが協働するモデルとなるよう引き続き行っています。また、配布時にはママスタッフの雇用にも繋げていきます。

(5) 収支について

収入 30,000円×12カ月=360,000円

支出 業務に含むため特に発生なし

【事業名】～みつかる つながる ママのネットワーク～ 第4回ママの文化祭®

(1)目的

このイベントは、～地域を巻き込み、みんなで子育て～をテーマに、ママが主役の地域が元気になるイベントです。

100人以上のボランティアスタッフやママがこのイベントを支え、「ママ・パパ×学生×企業×子育て支援団体×地域×行政」それぞれが、必要な人とつながれる場を提供するために行います。

(2)実施内容

日時 平成29年1月18日(水)10:00～15:00

場所 春日井市総合体育館

—来場者にとって—

自分と同じような環境の女性が頑張っている姿を見ることで、「私も何かやってみたい！」と感じてもらいます。

⇒実際に「来年は私も何かしたい」という声が集まりました。

—参加者(ママ)にとって—

「ひとりの女性」として、認めてもらえる場に。それぞれが達成感を感じてもらえること。

⇒幅広い世代との交流と、新たな人間関係の形成ができました。

—学生(ボランティアスタッフ)にとって—

母親世代に当たる実行委員との関わりが、会社組織とは異なった新たな女性組織との関わりの現場になります。

⇒イベントにかかるパパやママの姿が、結婚しても「やりたいことができる」「輝ける場がある」という期待につながり、また、母親たちのパワーを感じ、子育てしながらでも自分のやりたいことを実現できると感じてもらいました。

—企業・行政にとって—

「ママ×企業×行政」が繋がり、地域のニーズを目で見て、感じることができます。

⇒ママの文化祭を終えた企業様が、ママたちの動きに興味を持って下さり、積極的に関わってくれるようになりました。

**(3) 成果と課題****成果**

来場者数 2,300組 延べ 4,600人以上

課題

- ・来場者と参加者(出展者・スタッフ)との双方のコミュニケーションを深めるための施策の検討
- ・ボランティアスタッフの確保
- ・シャトルバスと臨時駐車場の確保
- ・施設の授乳室が小さいため、1階更衣室を授乳室にしたが、それでも少ない
- ・ママブースと企業ブース出展について、事前説明会に出展者全員参加・参加者のマナー徹底
- ・来場者のルールを守る意識を高める
- ・託児制度の見直し

(4) 収支について

収入 3,024,000円

支出 1,619,960円

■あいちプロボノチャレンジプロジェクト2016への参画

このプロジェクトは企業の社員や行政職員などプロボノワーカー17名が採用された3つのNPOの課題解決のため派遣されます。支援の内容は団体の現状分析後、課題と解決方法を決定し取り組みます。当法人は「ママの文化祭のマニュアル化」を課題としてあげました。そして、3ヶ月間の中で4回のミーティングとメール等で作業を進め平成29年3月4日活動報告を行いました。

【事業名】ちょっと小さなママの文化祭®**(1)目的**

開催地区は春日井市内に限らず、「ママのはじめの一歩」を助長するイベントとして、

「～みつかる つながる ママのネットワーク～ ちょっと小さなママの文化祭®」を開催します。

地元企業とその地域で活動するサークル等の連携を図り、新たな関係を築く機会を作っています。

また、それぞれの地域の地元団体と連携し、今後の取り組みのパートナーを継承します。

(2)実施内容

開催日	内容	場所	動員数
平成28年7月7日(木)	ママ&ベビー編	①ネクステージ名古屋茶屋店	約200組
平成28年8月27日(土)	キッズ夏祭り編	②大和エネルフ カスタマーセンター	約150組
平成28年9月30日(金)	一宮	③一宮市総合体育館多目的室	約300組
平成29年3月25日(土)	入園入学編	④大和エネルフ カスタマーセンター	約120組

(3)成果と課題**成果**

来場者数は上々です。また、開催した会場からも「やってよかった」「たくさん人が来た」などと嬉しい声を頂いています。

課題

マニュアル化した際の価格設定を検討していきたいです。

(4)収支について

収入 ①140,400円・② 現在確認中 ③60,000円 ④7,750円

支出 ①・③は委託費としての受け取りの為、特になし

【事業名】春日井市移住定住促進プロジェクト 座談会コーディネート**(1)背景**

日本全国区が子育て世代の「移住定住」をPRする中で、春日井市も促進するために座談会を開催し意見交換会を行う際のコーディネートを引き受けました。

(2)現状

今回の参加者は30代から80代までの多世代をコーディネート。

市民活動を長年やってこられた方と、転勤で越してきて在住3年未満の方との「春日井市に対するイメージ」はまったく異なっていることを、行政の方が認識する機会となりました。

(3)変化

市民活動に積極的に関わってきましたが、同じ世代の方の意見を耳にすることが多く、活発な意見交換や新たな課題に気付きそびれることがあり、今回の様な多世代参加型会議は大変有意義な時間となりました。

(4)成果と課題**成果**

多世代で座談会をできたことが大変有効的でした。

課題

地方創生などの座談会で起こりうるのが、「意見を吸い上げてフィードバックがない・または遅い」ということです。

また、どこまで実際に取り入れて春日井市として取り組むか？が見えてこない点が残念な点でした。

(5) 収支について

収入 コーディネーター式 113,040 円

支出 参加者謝礼 2,000 円 × 36 回(1 回 9 名 × 4 回分) = 72,000 円



【事業名】会員獲得活動

(1) 背 景

ママの文化祭で交流のある企業様を企業会員へのご案内をし、企業にとって有益なことと、当法人にとっての事業収益の向上につながる事業として今年度より行います。

(2) 現 状

- ・株式会社協和コーポレーション
- ・(株)タチ基ホーム
- ・(株)ネクステージ

(3) 変 化

ママの文化祭で交流のある企業様を企業会員へのご案内をし、企業にとって有益なこと(売りたい商品のアピール)と、当法人が得意とする情報発信を統合させ、事業収益をあげます。

(4) 成 果

獲得数は少ないが、企業からの依頼について、明確な価格の提示と応援企業会員として当法人のPRにつながっています。

(5) 収支について

収入 103,200 円(年度会費 30,000 円 + その他追加依頼分含む)

支出 0 円

【その他地域交流・活性化に伴うイベント事業として関わったイベント】

- ・防災と福祉フェア 2016 in 一宮 あいち防災プロジェクトとしてブース出展 8月 20 日(土)
- ・平成 28 年度春日井市総合防災訓練に参加 ~春日井市立東野小学校にて開催~ 8月 28 日(日)
- ・第 10 回春日井ビジネスフォーラム 「大和エルフ株式会社」ブース出展協力 11月 17 日(木)
- ・愛知県環境部環境活動推進課主催 NPOと行政のテーマ別意見交換会 参加 1月 25 日(水)

④子育て世代の交流、居場所を作る事業

【事業名】親子広場～なないろ広場～

(1)背景

27年度から始まりましたこの親子広場。当時0歳の枠が0ヶ月～12ヶ月すべての0歳児を対象にしていましたが、100組以上の参加があるため、0～8ヶ月と9ヶ月～12ヶ月の2分割します。その前半を勝川駅前の子育て子育ち総合支援館で活動する支援団体が担当することとなりました。

(2)現状

・親子広場～なないろ広場～

◆参加者人数 以下参照

※8月は夏休みのため開催なし

開催月日	大人	0歳	1歳	2歳	3歳～4歳	合計
4月28日	44人	42人	2人	1人	0人	89人
5月27日	63人	58人	2人	2人	1人	126人
6月23日	58人	55人	2人	2人	1人	118人
7月28日	72人	68人	2人	3人	3人	148人
9月29日	59人	56人	1人	0人	2人	118人
10月27日	54人	54人	0人	0人	0人	108人
11月24日	46人	44人	1人	1人	0人	92人
12月22日	45人	45人	0人	1人	0人	91人
1月26日	46人	44人	1人	0人	0人	91人
2月23日	65人	64人	0人	0人	1人	130人
3月23日	60人	60人	1人	0人	0人	121人
合計	612人	590人	12人	10人	8人	1,232人

(3)変化

29年度より子育てサークルに謝金として1回につき2,000円～3,000円支給されることとなりました。

(4)収支について

収入 0円

支出 コピ一代 1,000円程度

～その他春日井内の単発の広場や座談会～

・親子広場～東部子育てセンター～

東部子育てセンターにて開催される「こぶたんキッズ親子教室」にて講師として依頼されています。

4月7日(木)開催・8月18日(木)・3月30日(木)

0歳児「マカロンAコース」(ハイハイまでのお子さま対象) 参加人数 15名×3回

・おしゃべり座談会『～妊娠期・産後期について語ろう～』

5月10日(火)開催

春日井市民が必要としている妊娠期や産後のケアについて考えるための座談会を開催しました。

(春日井市と共に)妊娠期や産後の支援をすでにされている方の情報交換の場を設けました。

参加人数 8名

※上記ともに収支はありません

【事業名】企業からの依頼に伴う座談会

(1)背景

当法人に関わる様々な子育て世代を対象に企業が商品開発等に意見交換会の場を依頼があります。

その座談会のコーディネート及び参加者の集客などすべて行います。

(2)実施内容

①王子ネピア(株)オムツユーザー座談会

9月7日(水)開催・参加人数6名×2回 計12名

②パナソニックエコシステムズ(株) 空気清浄機ユーザー座談会

11月2日(水)開催・募集人数8名(当日1名欠席)

(3)成果と課題

成果

企業様も通常開発側に居ると気づくことのできない点や、ユーザーの声を定期的に聞くことは開発するうえで必要なことだと感じてくださるため、毎回企業様も参加者も満足度は高いと感じられます。

課題

その時必要な「参加希望する対象者」を募集する際に苦戦しないためにも、定期的に新鮮な情報をメルマガ等を通じて定期的に流すことが必要です。

(4)収支について

①収入 108,000円 支出 0円

②収入 142,000円 支出 参加者謝礼 3,000円×7名=21,000円

⑤母親の社会復帰を応援する事業

【事業名】4か月児健康診査サンプリング

(1)目的

ネピア春日井ブランド化推進プロジェクトの活動の一環として、春日井市で開催されている4か月児健康診査にて紙オムツのサンプリングを行います。その際に、ママスタッフを雇用し、社会とのつながりの場を提供します。

(2)実施内容

◆開催月日と配付枚数(1人3枚配布)

開催月	開催日					配付人数	配付枚数
4月	6日 48名	13日 52名	19日 45名	20日 48名	27日 56名	計 249名	計 747枚
5月	10日 46名	11日 48名	18日 38名	24日 53名	25日 48名	計 233名	計 699枚
6月	1日 51名	8日 44名	15日 47名	22日 50名	29日 47名	計 239名	計 717枚
7月	6日 45名	12日 48名	13日 44名	20日 35名	27日 51名	計 223名	計 669枚

8月	3日 46名	10日 48名	17日 46名	24日 53名	31日 46名	計 239名	計 717枚
9月	7日 48名	14日 50名	20日 37名	21日 41名	28日 48名	計 224名	計 672枚
10月	5日 41名	12日 50名	18日 47名	19日 48名	26日 51名	計 237名	計 711枚
11月	2日 41名	9日 40名	16日 51名	22日 41名	30日 47名	計 220名	計 660枚
12月	7日 57名	13日 55名	14日 40名	20日 48名	21日 54名	計 254名	計 762枚
1月	11日 56名	17日 61名	18日 49名	24日 59名	25日 57名	計 282名	計 846枚
2月	1日 52名	8日 51名	15日 49名	21日 49名	22日 50名	計 251名	計 753枚
3月	1日 48名	8日 47名	15日 36名	22日 49名	29日 51名	計 231名	計 693枚
合計(延べ数)						計 2,882名	計 8,646枚

(3) 成果と課題

成果

春日井市内で出産した赤ちゃんとママに98%以上確実にお会いすることができるこの機会で、すべての方におむつを配布できることは、このプロジェクトをPRするにはとてもよい機会でした。

課題

引き続き来年度も配布させていただけるようにしていきます。また、配布のチラシについてはデザインを変更し、より当法人を知っていただける工夫をしたいです。

(5) 収支について

収入 50,000円×12カ月=600,000円

支出 配布スタッフ 25,000円/月×12カ月=300,000円

【事業名】大和エヌルフ(株)カスタマーセンターの管理業務

(1) 背景

平成27年より大和エヌルフ(株)カスタマーセンター内のレンタルスペースの管理(貸館業務)を行っています。

予約管理や清掃等も当法人で行います。

(2) 現状

今年度の稼働率は約70パーセントでした。前年度にくらべ2倍程度にはなりましたが、収入の部分では、当法人の利用の場合費用が発生しないため、収益としてはいまいちです。

(3) 変化(会場費の改訂)

様々な媒体等で貸館のご案内をしているので、着実に増えています。

	会場名	【午前】9:30~12:30	【午後】12:30~17:00
3階	エヌルフホール(60名用会議室)	3,240円	4,860円
	社員研修ルーム	1,080円	1,620円
	中会議室	1,080円	1,620円
4階	大会議室(24名用会議室)	2,160円	4,320円
	中ホール	1,620円	2,160円
	多目的ルーム(16名用和室)	1,080円	1,620円
	屋上パノラマガーデン	2,160円	3,240円

(4) 成果と課題

成果 昨年度の利用数からみると2倍程度の利用率になりました。

課題 収益につながる利用と、閑散としたビルの状況はあまりかわらないため、引き続き利用促進を行います。

(5) 収支について

収入 4月から9月 127,440円 10月から3月 62,000 計 189,440円

支出 掃除道具・駐車場備品等購入

【事業名】ノックノックホームサポート

(1)目的

春日井市からの委託事業として、「子育て家庭訪問支援事業」を受託。

子ども(特に乳児)に対する虐待の防止や、母親の孤独育児からの救済として行います。

(2)実施内容

子育て支援員基本研修

開催日	講師名	内容
第1回 9月2日(金)	NPO法人あいちかすがいっこ 愛知県春日井児童相談センター長 渡邊浩志氏	「家庭訪問事業の説明・ 交流タイム」 「児童虐待と社会的養護」
第2回 9月5日(月)	NPO法人あつとわん代表理事 かわのゆみこ氏	「子ども・子育て家庭の現状」 「子ども家庭福祉」
第3回 9月9日(金)	NPO法人あつとわん代表理事 かわのゆみこ氏	「子どもの障がい」 「対人援助の価値と倫理」
第4回 9月12日(月)	刈谷ゆめの樹保育園園長 豊田市男性保育士連盟会長 今津太陽氏	「子どもの発達」 「保育の原理」
第5回 9月16日(金)	NPO法人あいちかすがいっこ	「総合演習・傾聴ワーク」 「ふりかえり」
振り返り会 3月10日(金)	NPO法人あいちかすがいっこ	「活動実績と検証」 「次年度について」

◆参加費 無料 参加人数(支援員) 22名

(3)成果と課題

成果

10月2件、11月1件、12月2件、1月1件、2月3件、3月3件の合計12件訪問。

家族内での問題や、お子さまの病気の話などなかなか知人には相談しづらい内容の話相手になっています。

また一人目育児中の母親へ先輩ママとしてアドバイスなどしています。

課題

初回訪問するにあたり訪問員2人のコミュニケーションが不足していると、訪問先で依頼者も不安になるため、事前に訪問員同士の打ち合わせは必要です。

子育て支援センターなどを紹介するにあたり、事前に訪問先周辺の交通手段を調査し、行きやすい場所を調べておくことも必要になります。

(4) 収支について

収入 241,980 円

支出 研修時講師謝礼 48,000 円(16,000 円×3回)

支援員訪問時謝礼 23,000 円(2,000 円×11回・1,000 円×1回)

計 71,000 円

【事業名】講師活動におけるはじめの一歩

(1) 背 景

資格を取りその資格を活かしきれず講師活動をしている女性に対し企業とタイアップし、講師として活躍する場を提供しています。

(2) 実施内容

① 東邦ガス チョコプリン手作り教室

1月31日(火)開催

パティシエとして勤める女性に、子育て中の母親がリフレッシュできる時間を提供するために、東邦ガスクリッキングサロン春日井店を利用して教室を開催しました。

② 株式会社エサキホーム

1人1コラム/月、11月よりエサキホームのフェイスブックページに『片付け・アロマ・テーブルコーディネート』のジャンルでコラムを提供し、講師としての文才の向上とSNSでの集客向上を目的にコラムを提供しています。

(3) 成果と課題

成果 社内では解決しない課題を、第三者を入れることで、糸口になりました。

課題 企業様とタイアップをし、企画を運営する中で「企業としても目的(営利面と社会貢献面)のバランス」が非常に重要で、当法人がNPO法人であるところから社会貢献面だけ重要視されがちですが、営利面での効果が見えないと継続には至らないため、そのあたりの状況を把握しながら、継続企業会員様になっていただけるよう提案等を進めていきたい。

(4) 収支について

① 収入 60,000 円 支出 講師謝礼 20,000 円

② 収入 コーディネーター式 55,200 円×5カ月=276,000 円

 講師謝礼 ライター 3,000 円×4名×5カ月 60,000 円

 支出 講師謝礼 ライター 3,000 円×4名×5カ月 60,000 円

以上